

コード	103020108
記入日	H24.5.31

課コード	118
課名	土木課
課長名	石司 貴英
担当者	永田 裕宗

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	町道曾根泊崎線新設事業
----------	-------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 26 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	8
施策コード	103	施策名称	しまを支える交通基盤づくり	項コード	2
基本事業コード	10302	基本事業名称	安全で快適な道路整備	目コード	3
事務事業コード	1030201	事務事業名称	単独事業費（道路）	細目コード	418
関連計画	新上五島町振興計画	法令・条例規則等	道路法、道路構造令		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1)	新上五島町が管理する道路の利用者	(対象指標1)	地区住民：137人			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画) ・新設延長 L=80.0m ・幅員 W=3.00 (4.00) m ・全体事業費 30,000千円	(平成23年度) ・新設延長 L= 0 (80.0) m ・幅員 W=3.00 (4.00) m ・事業費 3,129千円 ・平板測量 A=0.005km2 ・路線測量 L=0.08km ・用地測量 A=0.45ha ・道路詳細設計 L=0.08km	① 新設延長	0(80.0)m	0%	新設延長÷ 計画延長	平成26年度
		新設延長	0(80.0)m	0%		平成23年度
		(達成率分析)	本年の計画延長は測量設計L=100mとしていたが測量設計の完成はL=80mとなった。			
		②				
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・本路線は、町道曾根峠番岳線と曾根港湾臨港道路を結ぶ道路である。一部幅員が狭く私有地を利用し離合しているが、衛生車輛等の作業の際には遠回りをして迂回している。道路を新設することにより、町道の迂回路として地域住民の利便性の向上を図る。		① 進捗率	3,129千円	10.4%	事業費÷ 計画事業費	平成26年度
		進捗率	3,129千円	100%		平成23年度
		(達成率分析)	事業着手年度で、他の工事箇所との事業費の調整はあったが、施工区間の変更により事業はほぼ計画どおり進んでいる。			
		②				
		(達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	①	m	80.0	0(80.0)		0(100)	0(80.0)	0(30.0)	40.0	40.0	
	②										
成果指標	①	%	100	10.4		10.4	10.4	27.7	27.7	34.2	
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	32,800	3,829		3,829	3,829	9,000	9,000	10,971		
直接事業費 A	千円	30,000	3,129		3,129	3,129	8,300	8,300	10,271		
人件費 B	千円	2,800	700		700	700	700	700	700		
内訳	従事職員数	人	0.4	0.1		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円	28,300	3,000		3,000	3,000	7,800	7,800	9,700	
	その他	千円									
一般財源	千円	4,500	829		829	829	1,200	1,200	1,271		

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	道路管理者である町が行うべきものである。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	事業の途中であるが、計画どおり事業は推進されている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	ほぼ計画どおり事業は進捗しているので特別向上させる必要はない。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	最小の経費で最大の効果をあげる設計で実施している。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	● 代えられる ● 代えられない	理由	最小の経費で最大の効果を上げる設計となっている。また、設計の電算化等により省力化を図っており、現在の人員を削減することはできない。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2 次 評 価	住民の安全で安心な生活環境の確保と整備、利便性を向上させるため計画どおり事業を進めること。
------------------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。